

まちの医療機関が なくなる危機

もろう！
地域医療

国民署名へご協力ください

ご存じですか？
あなたの街の病院がいま危機的状況なのを！！

地域医療はもう崩壊寸前です

1. 診療報酬は公定価格です。しかし物価・賃金の上昇に対応して診療報酬が上がっていません。
2. 結果、多くの病院は深刻な経営難に陥っています。
3. また、医療・介護に従事する数多くのスタッフの賃金を、他産業と同じように上げることが難しくなっています。
4. 物価・賃金の上昇に適切に対応した診療報酬の仕組みが必要なのです。

このままでは
ある日突然、病院がなくなります

2024年度は赤字病院割合が増加

全国で多くの病院が深刻な経営危機に陥っています。2024年度の医療機関倒産は64件、休業業・解散786件と過去最高です。6病院団体（日本病院会、全日本病院協会、日本医療法人協会、日本精神科病院協会、日本慢性期医療協会、全国自治体病院協議会）の合同調査では2024年度69%の病院が赤字。6病院団体は「地域医療は崩壊寸前」と訴え、診療報酬の改善や社会保障抑制政策を改めることを要望しています。

年度	赤字割合	黒字割合
2023年合計	64.8%	35.2%
2024年合計	69.0%	31.0%

地域の皆さん
私たちは地域医療をまもるため、
診療報酬の期中改定、
緊急的な財政支援措置を求めています。

NHK・E・T・V特集
「断らない病院のリアル」、NHKスペシャル
「追い詰められた病院で」
BS・報道1930「大」
代「まさか都市も赤字!?」
病院経営の危機」、TBS・報道1930「大」

医療機関の倒産件数が
過去最多に

民医連で「地域医療の崩壊をくい止める緊急行動」として医療機関の収入源である診療報酬の引き上げと財政支援を求める国民署名に取り組んでいます。来春は診療報酬の見直しの年です。この見直し議論が佳境を迎える来春1月末までの緊急の取り組みとして、地域医療を守り、暮らしの安心を守るための取り組みです。

いま全国の医療機関の経営が 深刻な事態に！！

学病院がなくなる日……、「関口宏のこの先どうなる？」病院大倒産時代——今年6月から8月にかけて放映されたテレビ番組です。医療機関の経営問題に焦点を当て、経営難で病院がなくなる深刻な実態を伝えています。

実際にいま全国でたくさん医療機関が経営危機に瀕しています。これは規模の大小、民間か公立か、地方か都市部に関係なく直面している問題です。昨年1年間に倒産した医療機関の数は20

00年以降で最多に上りました。そして今年の前半はさらにそれを上回るペースで倒産しています。本当に地域で「病院が潰れてなくなる」事態が広がっています。6つの病院団体が昨年行なった経営調査では、医療機関の7割が赤字経営に陥っています。そしてより深刻なのが最も高度先端医療を担う国立大学の附属病院で、実に8割が赤字です。

なぜ、こんなに医療機関が赤字になり倒産をするのか？ 医療機関の収入の大半を占める診療報酬「医療の公定価格」が長年引き上げられていないからです。そのため、実は以前から医療機関の経営は余裕がありませんでした。そこに昨今の物価上昇、賃上げによるコスト増加が重なり、いよいよ耐えられなくなっています。診療報酬は国が決めるため、費用が増え、医療機関は「勝手に値上げはできません」。

(2面に続く)

